

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 3 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県小千谷市東栄3丁目4番5号

氏名 代表取締役 小杉 尚志

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0258-83-2511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	小杉土建工業株式会社
事業場の所在地	新潟県小千谷市東栄3丁目4番5号
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	(0911) 建設業 / 一般土木建築工事業
②事業の規模	年間売上実績額 1,052,426 千円(消費税込み) (R5.7.1~R6.6.30/決算日:6月30日)
③従業員数	30名(雇用保険対象者数)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>①汚泥: 中間処理業者に委託 → 脱水等中間処理 → 大部分、建設盛土材等に使用</p> <p>②廃油: 中間処理業者に委託 → 油水分離等中間処理 → 油脂等再生材として再資源化</p> <p>③廃プラスチック: 中間処理業者に委託 → 破碎等中間処理 → 大部分、原料として再資源化</p> <p>④紙くず・繊維くず: 中間処理業者に委託 → 大部分、破碎等中間処理 → 再生紙の原料等として再資源化 → 一部、焼却中間処分 → この内、大部分を熱回収(残渣は全量最終処分)</p> <p>⑤木くず: 中間処理業者に委託 → 大部分、破碎等中間処理 → 木材チップ等として再資源化 → 一部、焼却中間処分 → この内、大部分を熱回収(残渣は全量最終処分)</p> <p>⑥金属くず: 中間処理業者に委託 → 電炉メーカー(鉄)、商社(非鉄)に売却</p> <p>⑦がらすコンクリート及び陶磁器とゴムくず: 中間処理業者に委託 → 破碎等中間処分 → 大部分、再資源化(石膏ボード等)</p> <p>⑧がれき類: 中間処理業者に委託 → 破碎等中間処理 → 再生砕石等として再資源化</p> <p>⑨安定型・管理型建設混合廃棄物・蛍光灯: 中間処理業者に委託 → 分別等中間処理 → 最終処分可能な処分場にて処分</p> <p>⑩石綿含有産業廃棄物: 中間処理可能業者にて運搬委託 → 最終処分可能な処分場にて処分</p> <p>※当社では産業廃棄物の最終処分および中間処理を行える施設を所有していない為、中間処理業者に全て委託している。</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

・別紙管理体制図のとおり。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（6年度）実績】

①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず等
	排出量	53.02 t	6.53 t	13.97 t	1.81 t	20.04 t	0.22 t	7.78 t	7.58 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物				
	排出量	2,787.32 t	6.031 t	5.47 t	0.002 t				

(これまでに実施した取組)

・廃プラ・木くず等は排出現場で、圧縮や破碎を行っている。
また処理先の業者選定は、減量化が可能な業者に委託するよう取り組んでいる。

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず等
	排出量	50.00 t	10.00 t	30.00 t	3.00 t	300.00 t	3.00 t	20.00 t	20.00 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物				
	排出量	500.00 t	10.00 t	10.00 t	0.05 t				

(今後実施する予定の計画)

・産業廃棄物の圧縮や破碎化等による減量化を行い、目標達成を目指していく。
・公共工事が主体であるため、受注状況により目標値の増減が予想される。
・前年度は大規模建築物の解体工事の影響により『がれき類』が増えたが、今年度は今のところ予定が無いので減少する見込みである。ただ今年度は『木くず』が多く発生する可能性のある工事がある為、前年度より増加する見込みである。

産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・がれき類及び『伐根・伐採木等以外の産業廃棄物は、排出現場毎にコンテナや1tパック土嚢袋などに種類別に分別して、定量になったら処分業者の処分地に排出運搬している。なお小規模現場や資材倉庫での作業で排出される産業廃棄物は、少量であるため資材倉庫などの決められた箇所に種類別に収集して、一定量に達したら排出運搬を行うようにしている。

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・上記取組みを引き続き遵守し、分別の徹底と効率化を促進していく。なお現場責任者には廃棄物の種類別一覧表を配布するなど、分別の意識を高め徹底する教育をしていく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状		【前年度（6年度）実績】							
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず等	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t		0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物					
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
(これまでに実施した取組)									
・自ら行う産業廃棄物の再生利用を行う処理施設を保有しておらず、再生利用は行っていない。									
②計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず等	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物					
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
(今後実施する予定の計画)									
・上記理由により、今後も再生利用を行う予定はない。									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状		【前年度（6年度）実績】							
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず等	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物					
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
(これまでに実施した取組)									
・自ら行う産業廃棄物の中間処理を行う施設を保有しておらず、中間処理は行っていない。									
②計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず等	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物					
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
(今後実施する予定の計画)									
・上記理由により、今後も中間処理を行う予定はない。ただし『廃プラスチック類』は、容量の縮減を行うために現場で破碎、圧縮等に心掛けている。 ・今後も実施していく。									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】		汚泥	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず等
①現状	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
(これまでに実施した取組)									
・自ら埋立処分や海洋投入処分を行っていない。									
【目標】		汚泥	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず等
①現状	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
(今後実施する予定の計画)									
・上記理由により今後行う予定はない。									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】		汚泥	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず等
①現状	全処理委託量	53.02 t	6.53 t	13.97 t	1.81 t	20.04 t	0.22 t	7.78 t	7.58 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	6.53 t	13.39 t	0.36 t	18.45 t	0.22 t	0.27 t	4.07 t
	再生利用業者への処理委託量	53.02 t	6.53 t	13.97 t	1.81 t	20.04 t	0.22 t	7.78 t	7.58 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物				
②計画	全処理委託量	2,787.32 t	6.031 t	5.47 t	0.002 t				
	優良認定処理業者への処理委託量	0.36 t	4.491 t	0.00 t	0.00 t				
	再生利用業者への処理委託量	2,787.32 t	6.031 t	5.47 t	0.002 t				
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物				
(これまでに実施した取組)									
<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の処理・処分を委託できる業者の許可証等必要書面を確認のうえ、書面による契約を現場毎に締結して処分委託を実施している。 契約先業者は再生資源化が可能な業者を優先し、難しい場合は中間処理による減量化が可能な業者を選択している。埋立等の最終処分が必要な場合は、最終処分場を保有している委託業者を選択するよう心掛けている。 建設混合廃棄物や石綿含有産業廃棄物等の最終処分先が限られている廃棄物は、最終処分が適正に行われたかマニフェスト等で現場責任者等が確実にを行うこととしている。 優良認定業者への処理分割割合の増加に努めているが、公共工事は発注時点で排出先を指定しているケースが多いため制限がある、可能な限り優良認定業者への処理分割割合を増やすように努めていく。 									

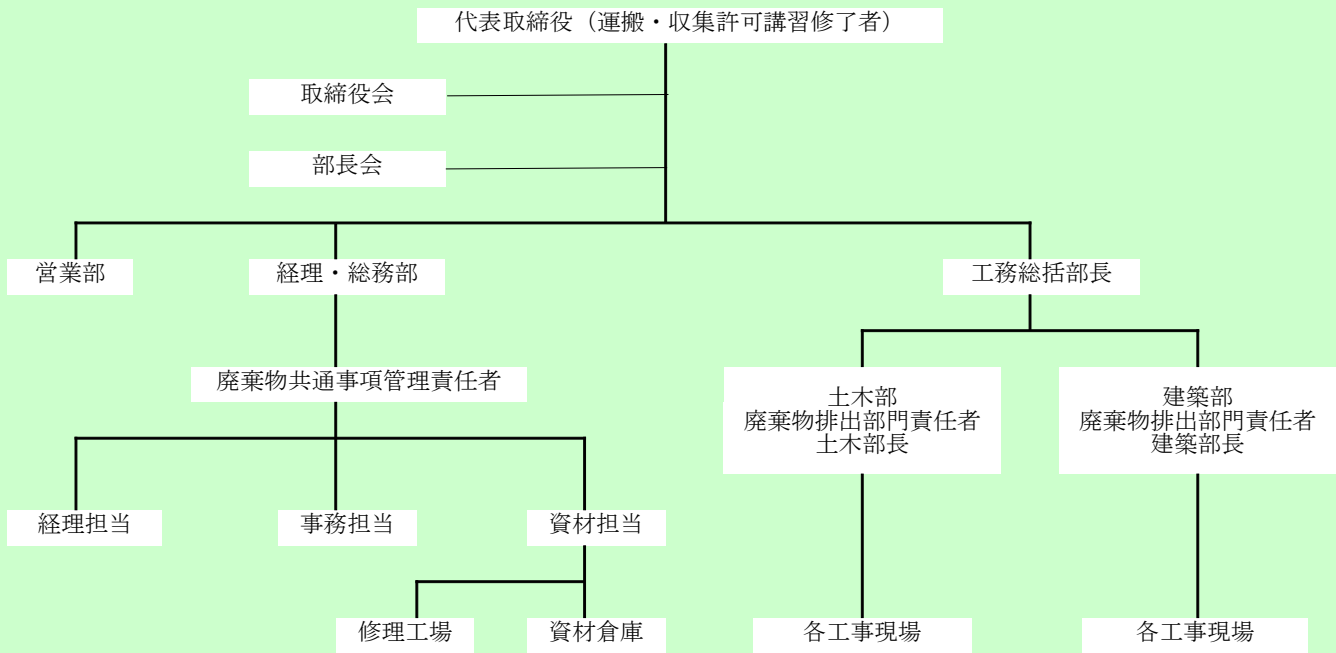
⑨ 計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず等	
	全処理委託量	50.00 t	10.00 t	30.00 t	3.00 t	300.00 t	3.00 t	20.00 t	20.00 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	30.00 t	10.00 t	27.00 t	2.00 t	200.00 t	2.00 t	5.00 t	15.00 t	
	再生利用業者への処理委託量	50.00 t	10.00 t	30.00 t	2.50 t	250.00 t	2.50 t	20.00 t	20.00 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.50 t	50.00 t	0.50 t	0.00 t	0.00 t	
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物					
	全処理委託量	500.00 t	10.00 t	10.00 t	0.05 t					
	優良認定処理業者への処理委託量	50.00 t	8.00 t	5.00 t	0.02 t					
	再生利用業者への処理委託量	500.00 t	10.00 t	10.00 t	0.05 t					
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
(今後実施する予定の取組)										
<ul style="list-style-type: none"> ・従来通りの委託に関する契約締結を確実にし、全量処理を実施していく。 ・委託先業者は再生資源化が可能な業者を優先し、難しい場合は中間処理による減量化や最終埋立処理ができる業者を優先して選択していく。また当社と継続的に取引が行われ、中間処理後の最終処分を含めた廃棄物処分を適正に実施している業者に委託を実施する。 ・優良認定業者への委託量を今後も増加させるように努力していくが、公共工事では発注者が排出先を指定しているケースが多くある為、増加させるか不透明である。可能な限り増やしていくように務めていく。 										
※事務処理欄										

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

第 2 面 管理体制図 について

廃棄物処理に関する管理体制



【管理体制における役割分担】

1. 工務総括部長

- 廃棄物の適正処理の推進等に必要な事項の検討・決定・指示
- 廃棄物の適正処理に関する各種必要な技術的事項の承認
- 監督官庁への会社・現場等としての必要な各種報告や現場指導 (各工事の発注者等に対する報告など)

2. 廃棄物共通事項管理責任者

- 廃棄物管理状況の把握と適正処理についての改善策の検討
- 監督官庁への会社としての各種報告 (産業廃棄物処理計画実施状況報告・産業廃棄物管理票交付等状況報告等)
- 産業廃棄物処理計画の作成及び監督官庁への報告
- 各部・会社で必要な委託契約の締結及び契約業者の処理状況の適宜監視等
- 産業廃棄物に関する各種情報の収集及び従業員への伝達
- 従業員・関連会社に対する教育・啓発等
- その他、上記項目に関係する必要事項

3. 廃棄物排出部門 (各部) 責任者

- 処理業者・再生業者に関する調査等
- 各現場等の排出責任者の任命・指導等
- 廃棄物の適正処理に関する技術的事項の教育・啓発等
- 使用処理業者・再生業者の選定・管理及び委託契約の締結
- 産業廃棄物の運搬に関する管理・監督・監視 (自己運搬も含む)
- 現場等の産業廃棄物排出計画の承認

4. 排出現場等責任者

(修理工場・資材倉庫を含む)

- 現場の産業廃棄物排出計画の策定及び発注者への必要事項の報告等
- 現場で使用する運搬業者・処理業者・再生業者の調査、選定及び管理・監督
- 必要な委託契約の締結
- 産業廃棄物管理票の交付・管理・保管
- 排出産業廃棄物の最終処分までの監視
- 産業廃棄物の運搬に関する管理・監督・監視 (自己運搬も含む)
- その他、上記項目に関係する必要事項

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	代表取締役 小杉 尚志	提出者の住所	新潟県小千谷市東栄3丁目4番5号
事業場の名称	小杉土建工業株式会社	事業場の所在地	新潟県小千谷市東栄3丁目4番5号
内容年度	7 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状／計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
汚泥	現状	53.02	0.00	0.00	0.00	0.00	53.02	0.00	53.02	0.00	0.00
	計画	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	50.00	30.00	50.00	0.00	0.00
廃油	現状	6.53	0.00	0.00	0.00	0.00	6.53	6.53	6.53	0.00	0.00
	計画	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	10.00	10.00	10.00	0.00	0.00
廃プラスチック	現状	13.97	0.00	0.00	0.00	0.00	13.97	13.39	13.97	0.00	0.00
	計画	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	30.00	27.00	30.00	0.00	0.00
紙くず	現状	1.81	0.00	0.00	0.00	0.00	1.81	0.36	1.81	0.00	0.00
	計画	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	2.00	2.50	0.00	0.50
木くず	現状	20.04	0.00	0.00	0.00	0.00	20.04	18.45	20.04	0.00	0.00
	計画	300.00	0.00	0.00	0.00	0.00	300.00	200.00	250.00	0.00	50.00
繊維くず	現状	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.22	0.22	0.22	0.00	0.00
	計画	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	2.00	2.50	0.00	0.50
金属くず	現状	7.78	0.00	0.00	0.00	0.00	7.78	0.27	7.78	0.00	0.00
	計画	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	20.00	5.00	20.00	0.00	0.00
ガラスくず等	現状	7.58	0.00	0.00	0.00	0.00	7.58	4.07	7.58	0.00	0.00
	計画	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	20.00	15.00	20.00	0.00	0.00
がれき類	現状	2,787.32	0.00	0.00	0.00	0.00	2,787.32	0.36	2,787.32	0.00	0.00
	計画	500.00	0.00	0.00	0.00	0.00	500.00	50.00	500.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物	現状	6.03	0.00	0.00	0.00	0.00	6.03	4.49	6.03	0.00	0.00
	計画	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	10.00	8.00	10.00	0.00	0.00
石綿含有産業廃棄物	現状	5.47	0.00	0.00	0.00	0.00	5.47	0.00	5.47	0.00	0.00
	計画	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	10.00	5.00	10.00	0.00	0.00
水銀使用製品産業廃棄物	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.02	0.05	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	現状	2,909.77	0.00	0.00	0.00	0.00	2,909.77	48.14	2,909.77	0.00	0.00
	計画	956.05	0.00	0.00	0.00	0.00	956.05	354.02	905.05	0.00	51.00